

様式第8号（第11条関係）

松本市地域づくり推進交付金実績報告書

令和8年3月31日

（あて先）松本市長

（申請者） 本郷地区町会連合会

1 交付決定額

I	金850,000円
---	-----------

2 本年度実績の報告

① 本年度の交付金事業の報告

① 事業名： 大音寺山みんなの里山づくり実践事業			
実施主体	NPO法人 浅間温泉木の絆会		
実施日（期間）	令和7年4月1日～令和7年10月31日		
実施場所	本郷地区大音寺山		
事業概要	1 遊歩道擬木設置事業（急坂箇所の安全確保） 3年計画で急坂の安全確保のため擬木合計100本の設置を進めた。 令和7年度は最終年度で、擬木止め棒及び擬木を購入して40本の設置作業を実施した。 2 削岩機の購入 電動削岩機を購入 植樹の際の岩山の穴掘りを効率よく進めるために購入した		
地域づくりの成果・効果	1 2002年の山林火災発生後、地域住民が主体となり花木の植樹、遊歩道の整備を進めてきた。活動は14年にわたって実施。その結果安心・安全に散策できる場所となり、観光客をはじめ、園児、小学生も散策で訪れている。 2 散策マップを作成し、地区の関係機関や旅館組合に配布してPRに努めている。		
課題	遊歩道の整備は一区切りとなったが、遊歩道近くの用水池の整備が急務となっている。また、植樹や遊歩道の維持管理を継続して行う必要があるためその費用の確保が課題		
決算額	a + b + c	財 源 内 訳	
		a	b c
	377,918円	377,500円	円 418円

a：本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b：前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c：この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名： 本郷地区有害鳥獣防護柵管理事業

実施主体	本郷地区有害鳥獣対策防護柵管理委員会
実施日（期間）	令和7年4月1日～令和8年3月31日

実 施 場 所	本郷地区			
事 業 概 要	1 防護柵設置場所の草刈り 2 自然災害（台風・豪雨等）及び松くい虫による松枯れ材等による倒木で破損している防護柵の補修を実施			
地域づくりの成果・効果	有害鳥獣の駆除及び防護柵の維持管理の実施は、地域住民の安全・安心な生活と、農作物の被害保護がなされている、重要かつ必要な事業であるとして、地域住民から今後も継続の要望がある。			
課 題	1 作業者の高齢化と人手・費用不足 2 現行の作業者では、補修作業等が不可能な箇所がある。（倒木・立地等の状況により危険を伴う箇所がある。）			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	112,580円	112,500円	円	80円

③ 事業名： 本郷遺族会事業				
実 施 主 体	松本市遺族会本郷支部			
実施日（期間）	令和7年4月1日～令和8年3月31日			
実 施 場 所	本郷地区			
事 業 概 要	1 本郷地区英魂碑、全国殉国学徒慰霊碑周辺の環境整備 2 大正山山頂の戦没者慰霊碑周辺の環境整備			
地域づくりの成果・効果	戦争の悲惨さ、風化をさせないため、危機感を持ち慰霊碑等の環境整備と、語り部事業を重点事業として実施した。			
課 題	使命感、危機感を持ち継続して積極的に事業を実施していきたいが、会員は高齢化し減少してきている。			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	24,728円	20,000円	円	4,728円

④ 事業名： 浅間温泉ホテルの里環境整備事業				
実 施 主 体	浅間温泉ホテルの里づくりの会			
実施日（期間）	令和7年4月1日～12月31日			
実 施 場 所	本郷地区			
事 業 概 要	1 ヘッドライトや夜間灯を遮断するホテル飛翔地垣根づくりのための植樹 2 土手斜面の補修、カワニナ飼育作業 3 見学通路の安全対策（転落防止） 4 水路の大改修			
地域づくりの成果・効果	ホテル祭り飛翔観察会を開催した。 親子でホテルの観察を楽しみ、地域の皆さんや観光客にはホテルの飛翔を静かに楽しんでもらった。 毎年開催している飛翔会を継続して実施、地域の交流の場となってきている。			
課 題	水路の大改修を終えたが、継続して通路の安全対策、環境整備の継続実施が重要。その資金の確保が課題			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		

		a	b	c
	497,881円	250,000円	円	247,881円

⑤ 事業名： 文化財研究・資料制作事業				
実 施 主 体	本郷歴史研究会			
実施日（期間）	令和7年4月1日～令和8年3月31日			
実 施 場 所	本郷地区			
事 業 概 要	1 資料研究調査の実施 長野県立歴史館を見学。元本郷図書館著書委員を講師に戦争史の講演会を開催し知見を深めた。 2 資料の作成			
地域づくりの成果・効果	本郷地区にも文化財があり、その史跡を後世に伝えることが重要と考えている。説明看板を設置してきた経過があるが、資料としての保存を重要と考えている。資料の作成を進め、小学生の子ども達に機会を得て説明し、地域への愛着を持ってもらうために着実に資料作成作業を進めていきたい。			
課 題	費用等の確保 会員の高齢化			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
		45,722円	40,000円 円	5,722円

⑥ 事業名： ボランティア活動事業				
実 施 主 体	本郷地区ボランティア協議会 ささえあいの会			
実施日（期間）	令和7年9月1日～令和8年3月31日			
実 施 場 所	本郷公民館他			
事 業 概 要	1 ボランティア交流事業 2 講座 傾聴・話を聴くとは 3 視察研修 障がい者支援施設「長野県西駒郷」 市子育て支援施設「あんさんぶる」caféポリジ、なみカフェ（子ども食堂） 4 送迎車両表示用マグネット購入			
地域づくりの成果・効果	ボランティア団体として接する地域の皆さんとの対話向上につながる方法を学び今後の活動に生かせる研修会を開催することができた。 障がい者施設の現状や課題、働く職員の皆さんの接し方等、配慮する点、視点等学習することができ、今後の活動に反映させ、地域へ還元している。			
課 題	地区を対象として事業を展開しているが、参加者の固定化が課題となってきた。身近な講座が学ぶことのきっかけとなってくれるようPRの必要と手段の検討が必要と感じた。			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
		51,062円	50,000円 円	1,062円

決 算 額（計） （①+②+③）	A + B + C	財 源 内 訳		
		A	B	C

	1,109,891円	850,000円	円	259,891円
--	------------	----------	---	----------

A：各事業の a の合計額
 B：各事業の b の合計額
 C：各事業の c の合計額

(2) 本年度の積立実績の報告
 該当なし

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I－A－D	金	0 円
-------	---	-----

[参考]繰越上限額＝I×2／10